

環境適応学 I

2単位 2年(後期)

小山保夫・教授/社会創生学科, 佐藤征弥・准教授/社会創生学科, 山城考・准教授/社会創生学科, 金丸芳・准教授/社会創生学科, 横井川久己男・教授/社会創生学科
浜野龍夫・教授/社会創生学科

【授業目的】生物(あるいは生体)が環境(老化を含む)に適応しているか, また, その適応の仕組みがどのような意味をもっているか, これを理解するために幅広く講義になります。

【授業概要】生物(生体)が環境(老化を含む)にどのように適応するか, 基礎的な知識を学ぶ

【履修上の注意】この講義は自然システム学科生命環境コース「2年次」開講の科目です。受講を希望する学生は履修登録前に担当教員(小山保夫)まで連絡してください。

【到達目標】環境(老化を含む)と生物(生体, 臓器, 細胞レベルの生命活動を含む)の関係を理解する

【授業計画】

1. 環境適応反応の例・環境適応不全(ストレスと病気)
2. 細胞の環境適応(ストレスと細胞)
3. 生体の環境適応(ストレスと内分泌, 免疫, 神経など)
4. 生体内環境変化と適応(老化1)
5. 生体内環境変化と適応(老化2)
6. 生体内環境変化と適応(老化3)
7. 生体内環境変化と適応(老化4)
8. 生体内環境変化と適応(老化5)
9. 生体内環境変化と適応(老化6)
10. 侵入種の定着とその影響
11. 食・生活環境因子と環境適応
12. 自然環境適応(日本の森林)
13. 微生物に影響を与える環境因子と環境適応機構
14. 天然からの知的薬物の探求
15. 植物と草食動物の相互作用
16. レポートの返却と試験

【成績評価】学則に従って評価します。

【再試験】なし。

【教科書】毎回プリントを配ります。参考書はその都度, 紹介します。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219360>

【連絡先】

⇒ 小山 (総合科学部3号館3N06, oyama@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 開講については小山保夫, 個々の講義については担当した教員のオフィスアワーを参照して下さい。)

⇒ 佐藤 (088-656-7222, satoh@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 山城 (088-656-7257, tyamash@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 金丸 (088-656-7268, kanemaru@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 横井川 (3221, 088-656-7267, yokoigaw@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 浜野 (3N04, 088-656-7271, hamanot@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 12:00-12:30)